

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス くれよんプラス		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日		～ 2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38名	(回答者数) 30名
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		～ 2025年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	古民家を利用した建物で、アットホームな雰囲気の中で子どもたちがお家にいるような気持ちで、リラックスして過ごしてもらっています。	お部屋の中だけでなく外にも季節の飾りを掲示したり、子どもたちの作品を掲示しています。学校から帰宅して来た際目に入るお庭の壁面の飾りは、子どもたちと一緒に作っています。	子どもたちも大きくなり、一緒に考えたり、子どもたちが中心になり壁面づくりを行っていかれたらと思います。みんなで作り上げる中で、それぞれに役割を持ち活動していかれたらと思います。
2	送迎時や連絡帳で今日の様子をお伝えし、保護者とのコミュニケーションを常に取れるようにしています。	今日の子どもの頑張りや、日々成長している姿、お家では見せない一面など、出来るだけお伝えできるおようになっています。また、保護者のお話に耳を傾け学校、相談支援員、他事業所ともしっかりコミュニケーションを取り、より良い支援が出来るよう心がけています。	日々のコミュニケーションに加え、年二回の面談で保護者のニーズを聞き取り、支援に繋げています。保護者の思いが話しやすい環境作りが出来るよう、職員一同丁寧な対応を心がけていきます。
3	他学年・他学校の子子どもたちが集い、交流することが出来ます。色々な子どもたちが一緒に遊び生活する中で、社会性や身辺自立など学び成長しています。	他学年や他学校の子子どもたちとの交流の中で、教え・教えられることで、成長する姿を見ることが出来ます。集団でしかない遊びや、活動を取り入れ成長につながるよう心がけています。	外出する機会をたくさん設け、さらに社会性を育めるように出来たらと思います。その活動の中で、上の子が下の子の様子を見たりすることで、それぞれの成長に繋げて行けたらと思います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設内外に段差が多く、バリアフリーではない為、転倒など怪我の心配があります。	古民家を利用した施設の為、構造上段差をなくすことが難しい状況となっています。安全に気を付けながら、見守りを行っています。	段差のある場所には、スロープ状になるような物を設置する、転倒した際怪我がないようにマットを用意する、コーナガード等で保護するなど、安全に配慮出来るよう工夫していかれたらと思います。
2	支援終了後にその日の業務の振り返りや、気づいた点を全員で話し合う事がむづかしいです。	正職員とパート職員とで勤務時間が違う事や、ほとんどの職員が送迎業務に行くことで全員が揃って話し合うことは、現状では難しいです。	ドライバーの人員を確保し、正職員が1人残れる体制をとることで、それぞれの終了時刻ごとに話し合い、記録したものを全員で共有したらどうかと考えています。
3	保護者交流会は開催しましたが、父母の会、兄弟同士の交流の機会を設けることができませんでした。	保護者交流会は平日の午前で開催しましたが、参加者がいませんでした。お仕事されている保護者も多く、時間的に参加しづらい設定だったのではと思います。	開催日時や交流会での内容など、アンケートを行う等保護者のニーズに合わせて行っていかれたらと思います。